

ヨーロッパ世界

近代ヨーロッパの成立

10 次の文章を読み、あとの各問いに答えよ。

16世紀以降のヨーロッパでは主権国家が形成され、スペイン・フランス・イギリスなどでは、国王が強い権力を握って統治する体制が生まれた。スペインでは、オーストリアのハプスブルク家の系統を引くカルロス1世が王位につき、1519年にはカール5世として神聖ローマ皇帝にも選出された。カルロス1世が退位すると、スペイン王位は **A** に受け継がれ、その治世のもと、スペインは全盛期を迎えた。しかし、**A** のカトリック的専制政治は、スペインの支配下にあったネーデルラントの新教徒の反発を生み、1568年に独立戦争が始まった。独立を支援した **B** 治下のイギリスに対し、スペインは無敵艦隊を送った。しかし、スペインは敗れて制海権を失い、イギリスが大国の列に加わることとなった。この頃フランスでは、国内を二分する **C** 戦争が行われていた。30年以上に及んだこの内戦は、**D** が発したナントの勅令によって終息に向かった。17世紀に入ると、フランスはルイ13世の宰相リシュリューやルイ14世の宰相 **E** による王権強化の政策によって、絶対王政の全盛期を迎えた。

一方、ドイツでは主権国家の形成が遅れていた。1618年に起こったベーメンの新教徒の反乱をきっかけにして、三十年戦争が勃発した。これに、新教国スウェーデンの国王であった **F** が参戦するなど、諸外国の干渉が加わったため、戦場となったドイツは国土が荒廃し、中央集権化も著しく遅れることとなった。三十年戦争後の北ドイツでは、**G** 家の支配下におかれていたプロイセンが台頭した。プロイセンは、**H** と呼ばれる領主層が君主の権力を支えたことなどから、実力を蓄えていった。ロシアでは、16世紀に、雷帝と呼ばれた **I** が、貴族を抑えて専制政治の基礎を固めていた。17世紀初めにロマノフ朝が成立すると、専制支配は強化され、皇帝権は絶大になった。

問1 空欄 **A** ~ **I** に該当する最も適切な語句を、次の中からそれぞれ選び、符号で答えよ。

- ア. アルマダ イ. アンリ4世 ウ. イヴァン3世 エ. イヴァン4世
オ. ヴァレンシュタイン カ. ヴァロワ キ. エリザベス1世
ク. オラニエ公ウィレム ケ. グスタフ=アドルフ コ. ゴイセン
サ. コサック シ. ザクセン ス. サンバルテルミ セ. ジェームズ1世
ソ. ジェントリ タ. ピューリタン チ. フェリペ2世 ツ. ブルボン
テ. フロンド ト. ヘンリ8世 ナ. ホーエンツォレルン ニ. マザラン
ヌ. ユグノー ネ. ユンカー

問2 下線部①の際にネーデルラントの北部7州が結んだ同盟の名を記せ。

問3 下線部②の講和条約の名を記せ。